

令和 8 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

Ⅰ、別紙の設問資料を読んで、次の問に答えなさい。

(1) 本書の①『昭和定本日蓮聖人遺文』における遺文名、②執筆年月日、③執筆地を記しなさい。

①

②

③

(2) 設問資料の大意を記述し、教学的な意味を解説しなさい。

Ⅱ、次の設問から一つを選んで解説しなさい。（選択した設問の番号に○印をつけること）

(1) 行学院日朝 (2) 慶林坊日隆 (3) 円光房日暲 (4) 優陀那院日輝

令和 8 年度大学院入学試験問題（所要時間 6 0 分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

【問題概要】

著作権上の都合により非公開
出典：「日蓮聖人真蹟集成」（法蔵館）第4巻35～36頁

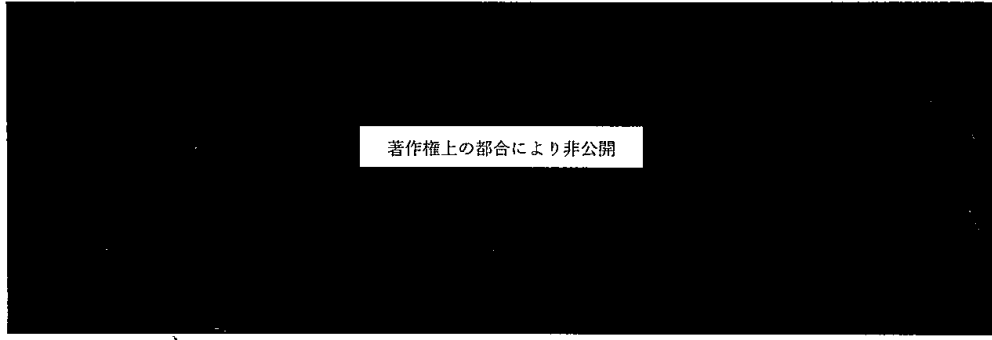
令和 8 年度大学院入学試験問題 (所要時間 60 分)

博士後期課程 仏教専攻 A 一般(長期履修含む)・留学生

受 験 番 号		氏 名		科 目	英 語	評 点	
------------	--	-----	--	-----	-----	-----	--

【辞書使用可、電子辞書も可】

1. 下記の文章の要旨を述べなさい。



(David J. Kalupahana, *Buddhist Philosophy – A Historical Analysis*, University of Hawaii Press, Honolulu, 1976, p.36, 第1 パラグラフ 3 行目～12 行目)

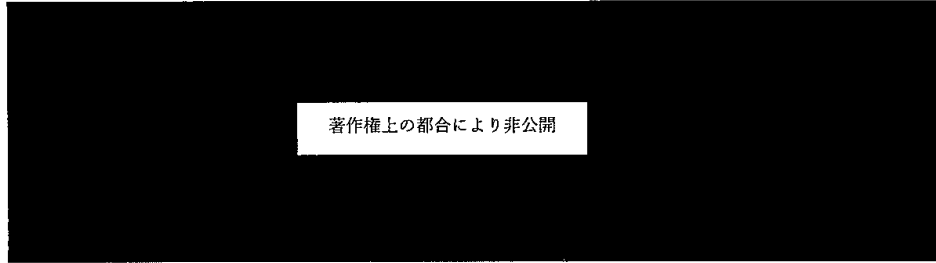
令和 8 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教専攻 A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	英 語（解答用紙）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----------	--------	--

【辞書使用可、電子辞書も可】

2. 次の文章を和訳しなさい。



(Hirakawa Akira, translated and edited by Paul Groner, *A History of Indian Buddhism*, Motilal Banarsidass, Delhi, 1990, p.41、13 行目～18 行目)

Blank lined area for writing the answer.

令和 8 年度大学院入学試験問題 (所要時間 60 分)

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学 コース A 一般 (長期履修含む)・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語 (梵語)	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----------------------	--------	--

【辞書使用可】

問題 次の文章は『法華経』(*Saddharmapuṇḍarīka-sūtram*) 常不軽菩薩品 (*Sadāparibhūta-parivartaḥ*) 中の一節である。
文章を読んで設問に答えなさい。(解答用紙は別紙。連声により音が変化している場合があるので注意すること。)

sarve hi bhavanto bodhisattvacaryām carantu |
 (1)===== (2)=====
 bhaviṣyatha yūyam tathāgatā arhantaḥ samyaksaṃbuddhā iti |
 (3)===== (4)===== (5)=====
 anena mahāsthāmaprāpta paryāyeṇa sa bodhisattvo mahāsattvo
 (6)=====
 bhikṣu-bhūto noddeśaṃ karoti na svādhyāya karoti |
 (7)===== (8)=====
 anyatra yaṃ yaṃ eva paśyati dūra-gatam api |
 sarvaṃ tam upasaṃkramya evaṃ saṃśrāvayati
 (9)=====
 bhikṣuṃ vā bhikṣuṇīm vā upāsakaṃ vā upāsikāṃ vā |
 (10)=====
 taṃ tam upasaṃkramyaivaṃ vadati |
 (11)===== (12)=====
 nāhaṃ bhagīnyo yuṣmākaṃ paribhavāmi |
 (13)===== (14)=====

問 1 下線部 (1)(4)(5)(6)(10)(14) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。(略号を用いてよい。)(配点: 5×6= 30 点)

解答例: nadīnām → nadī-, G. pl. f. (または「女性・複数・属格」)「諸河川の」

問 2 下線部 (2)(3)(8)(9)(12) の動詞の、語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。

準動詞の場合は、語根、準動詞の種別、意味を記しなさい。(略号を用いてよい。)(配点: 6×5= 35 点)

解答例: nayati → √nī-, Indic. Pres. 3. sg. P. (または「直説法・現在時制、三人称・単数・パラスマイパダ」)「導く」

解答例: āgaccha → ā-√gam-, Impv. 2. sg. P. (または「命令法、二人称・単数・パラスマイパダ」)「来なさい」

問 3 下線部 (7)(11)(13) は、それぞれ 連声 (sandhi) による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。(配点: 5×3= 15 点)

解答例: (問題文で nadīha となっているとき →) nadī iha

問 4 問題文の要旨を述べなさい。(配点: 20 点)

令和 8 年度大学院入学試験問題 (所要時間 60 分)

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般 (長期履修含む)・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語 (梵語)	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----------------------	--------	--

解 答 用 紙

【辞書使用可】

問 1 下線部 (1)(4)(5)(6)(10)(14) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。(略号を用いてよい。)(配点: $5 \times 6 = 30$ 点)

解答例: nadīnām → nadī-, G. pl. f. (または「女性・複数・属格」)「諸河川の」

- (1) bodhisattvacaryām
- (4) yūyam
- (5) arhantaḥ
- (6) paryāyeṇa
- (10) bhikṣuṇīm
- (14) yuṣmākaṃ

問 2 下線部 (2)(3)(8)(9)(12) の動詞の、語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。

準動詞の場合は、語根、準動詞の種別、意味を記しなさい。(略号を用いてよい。)(配点: $6 \times 5 = 35$ 点)

解答例: nayati → √ nī-, Indic. Pres. 3. sg. P. (または「直説法・現在時制、三人称・単数・パラスマイパダ」)「導く」

解答例: āgaccha → ā-√ gam-, Impv. 2. sg. P. (または「命令法、二人称・単数・パラスマイパダ」)「来なさい」

- (2) carantu
- (3) bhaviṣyatha
- (8) karoti
- (9) upasaṃkramya
- (12) vadati

問 3 下線部 (7)(11)(13) は、それぞれ 連声 (sandhi) による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。(配点: $5 \times 3 = 15$ 点)

解答例: (問題文で nadīha となっているとき →) nadī iha

- (7) noddeśaṃ
- (11) upasaṃkramyaivam
- (13) nāhaṃ

問 4 問題文の要旨を述べなさい。(配点: 20 点)

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ②漢文	評 点	
----------	--	--------	--	--------	------------	--------	--

〔問題〕次のA～Cの文は、劉宋の曇無蜜多訳『佛説観普賢菩薩行法経』の数節である（大正新脩大蔵経 第9巻より、A：392頁下段14行目～21行目、B：393頁中段29行目～下段10行目、C：394頁上段2行目～8行目。付注は略し、圈点を改めた箇所がある）。これを読み、下記の問いに答えなさい。

著作権上の都合により非公開

- 問1 下線部（1）の「釋迦牟尼名毘盧遮那遍一切處」の意味するところを説明しなさい。
- 問2 下線部（2）の「常波羅蜜所攝成處 我波羅蜜所安立處 淨波羅蜜滅有相處 樂波羅蜜不住身心相處」の意味するところを、前後の文意もふまえて説明しなさい。
- 問3 下線部（3）の「行此行者 眞是佛子 從諸佛生 十方諸佛及諸菩薩 爲其和上 是名具足菩薩戒者」の意味するところを、前後の文意もふまえて説明しなさい。またこの文における「菩薩戒」の意味するところ（一般的な意味でなく）も、他の文を適宜参考し、説明しなさい。
- 問4 下線部（4）に「五分法身」とあるが、この語について説明しなさい。
- 問5 Cの文の大意を記しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問いの番号を明記の上で解答すること。】

令和 8 年度大学院入学試験問題 (所要時間 60 分)

博士後期課程 仏教専攻 仏教コース A 一般 (長期履修含む)・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ③仏教史・仏教文化	評 点	
----------	--	--------	--	--------	------------------	--------	--

設問：下記の①～⑧から、3つを選び、各々200字程度で解説しなさい。

① caitya と stūpa、 ②四大事と八相、 ③梵天勧請、

④クシヤン朝下の仏教美術、 ⑤ラバータク碑文、 ⑥白毫相、

⑦弥勒信仰、 ⑧鳩摩羅什

令和8年度大学院入学試験問題 (所要時間60分)

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース A 社会人(長期履修含む)

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

Ⅰ、日蓮聖人の『立正安国論』に関して、次のキーワードをすべて網羅する形で解説しなさい。

〈キーワード〉撰述の背景、撰述集、謗法、自界叛逆難、他国侵逼難、実乗の一着、未来記

Ⅱ、次の設問から一つを選んで解説しなさい。(選択した設問の番号に○印をつけること)

(1) 行学院日朝 (2) 慶林坊日隆 (3) 円光房日輝 (4) 優陀那院日輝

令和 8 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース

A 社会人（長期履修含む）

受験 番号	氏 名	科 目	専 門	評 点
----------	--------	--------	-----	--------

問 1 次の①～⑧から 2つを選び、各々200字程度で解説しなさい。

- ① 法華経成立史 ② 部派仏教 ③ 五分法身 ④ 五時八教判
⑤ 鑑真 ⑥ 釈迦三尊 ⑦ 変相図 ⑧ 成尋

問 2 あなたの研究について、

- ① これまで（修士論文等）の研究テーマとその概要
② これから（博士後期課程）の研究テーマと選定の理由
③ ②の年次計画、予想される成果、独自性
について、全体を400～500字程度で記述しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問いと○の番号を明記の上で解答すること。】

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

I 別紙資料をもとに、次の設問に解答する。こと。

(I) 全文書を翻刻すること。

(2) この資料の名称・対告衆・執筆時期・執筆経緯等に触れながら解説すること。

II 次の①～④から一つを選び解説すること。

- ① 允洽園 ② 四重興廢 ③ 月蔵房日記 ④ 三師御伝士代

番号

番号

著作権上の都合により非公開

出典：聖人知三世事

『日蓮聖人真蹟集成』（法蔵館編集・発行・昭和51年）第2巻128頁

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教専攻 C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	英 語	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

【辞書使用可、電子辞書も可】

〔問題〕 下記の英文を和訳しなさい。

著作権上の都合により非公開

(出典：Sue Hamilton, *Indian Philosophy: A Very Short Introduction*, Oxford University Press, Oxford, 2001, p.91, ll.2–26.)

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	----------------------	--------	--

【辞書使用可】

問題 次の文章は『法華経』(Saddharmapuṇḍarīka-sūtram) 従地踊出品 (Bodhisattvapṛthivīvarasamudgama-parivartaḥ) 中の一節である。文章を読んで設問に答えなさい。（解答用紙は別紙。連声により音が変化している箇所がある。）

tena khalu punaḥ samayena teṣāṃ bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ
(1) = (2) =
pṛthivīvivarebhya unmajjatāṃ tathāgatāṃśca vandamānānāṃ
(3) = (4) =
nānāprakārair bodhisattvastavair abhiṣṭuvatāṃ paripūrṇāḥ
(5) =
pañcāśadantarakalpā gacchanti sma |
(6) =
tāṃśca pañcāśadantarakalpān sa bhagavān śākyamunistathāgatorhan
(7) = (8) =
samyaksambuddhas tūṣṇīm abhūt |
(9) =
tāś catasraḥ parśadas tān eva pañcāśadantarakalpāṃs tūṣṇīm
(10) = (11) =
bhāvenāvasthitā abhūvan |
(12) =
atha khalu bhagavāṃs tathārūpam ṛddhyabhisamskāram akarot |
(13) =

問1 下線部 (1)(2)(5)(7)(10)(11) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：5×6＝30点）

解答例：nadīnām → nadī-, G. pl. f. (女性・複数・属格)「諸河川の」

問2 下線部 (4)(6)(9)(13) の動詞の、語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。

準動詞の場合は、語根、準動詞の種別、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：8×4＝32点）

解答例：nayati → √nī-, Indic. Pres. 3. sg. P. (直説法・現在時制、三人称・単数・パラスマイパダ)「導く」

解答例：pratīvada → prati-√vad-, Imperative, 2. sg. P. (命令法、二人称・単数・パラスマイパダ)「答えなさい」

解答例：śrutaḥ → √śru-, Past passive participle, N. sg. m. (過去受動分詞、男性・単数・主格)「聞かれた」

問3 下線部 (3)(8)(12) は、それぞれ 連声 (sandhi) による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。（配点：4+7+7＝18点）

解答例：（問題文で nānubhavataḥ となっているとき →） na anubhavataḥ

問4 問題文の要旨を述べなさい。（配点：20点）

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース **C 一般**（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門/解答用紙 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	---------------------------	--------	--

【辞書使用可】

解 答 用 紙

問1 下線部 (1) (2) (5) (7) (10) (11) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：5×6＝30点）

解答例：nadīnām → nadī-, G. pl. f.（女性・複数・属格）「諸河川の」

- (1) samayena
- (2) bodhisattvānām
- (5) paripūrṇaḥ
- (7) bhagavān
- (10) catasraḥ
- (11) tān

問2 下線部 (4) (6) (9) (13) の動詞の、語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。

準動詞の場合は、語根、準動詞の種別、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：8×4＝32点）

解答例：nayati → √nī-, Indic. Pres. 3. sg. P.（直説法・現在時制、三人称・単数・バラスマイパダ）「導く」

解答例：pratīvada → prati-√vad-, Imperative, 2. sg. P.（命令法、二人称・単数・バラスマイパダ）「答えなさい」

解答例：śrutaḥ → √śru-, Past passive participle, N. sg. m.（過去受動分詞、男性・単数・主格）「聞かれた」

- (4) vandamānānām
- (6) gacchanti
- (9) abhūt
- (13) akarot

問3 下線部 (3) (8) (12) は、それぞれ 連声（sandhi）による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。（配点：4+7+7＝18点）

解答例：（問題文で nānubhavataḥ となっているとき →）na anubhavataḥ

- (3) tathāgatāṃśca
- (8) śākyamunistathāgatorhan
- (12) bhāvenāvasthitā abhūvan

問4 問題文の要旨を述べなさい。（配点：20点）

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ②漢文	評 点	
----------	--	--------	--	--------	------------	--------	--

次の漢文を読み、設問に答えなさい。

著作権上の都合により非公開

（『坐禅三昧経』下巻、大正新脩大藏経第15巻 277頁下段～278頁上段）

注：四供養 三宝などに備えられる基本的な施物。飲食、衣服、臥具、湯薬を指す。

問 下記の(1)から(3)をそれぞれに分けて答えなさい。

(1)下線部①を書き下し文にし、次に現代語訳を作成しなさい。

(2)下線部②の四供養をどのようにするのが良いと述べているのか、簡単に説明しなさい。

(3)下線部③の現代語訳を作成しなさい。

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教専攻 仏教コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ③仏教史・仏教文化	評 点	
----------	--	--------	--	--------	------------------	--------	--

問1 次の①～⑧から 2つを選び、それぞれ200字程度で解説しなさい。

- ① アビダルマ ② インド大乘仏教運動 ③ 中国への仏教初伝 ④ 竺道生
⑤ 「山家学生式」 ⑥ 護国仏教 ⑦ 弥勒信仰 ⑧ 飛鳥寺釈迦如来像

問2 あなたの研究について、

- ① これまで（修士論文等）の研究テーマとその概要
② これから（博士後期課程）の研究テーマと選定の理由
③ ②の年次計画、予想される成果、独自性
について、全体を200～300字程度で記述しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問いと○の番号を明記の上で解答すること。】

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程

仏教学専攻

宗学コース

C 社会人(長期履修含む)

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

I 次の資料をもち、設問に解答する。100

著作権上の都合により非公開

出典：聖人知三世事

『昭和定本日蓮聖人遺文』

（立正大学日蓮教学研究所編・身延山久遠寺発行・昭和63年）第1巻842頁

(I) 「 」の文意を釋せよ。100

(2) 上の日蓮遺文の名称・対告家・執筆時期・執筆経緯等に就てながら解説する。100

II 次の①～④から1つを選び解説する。100

① 元治園

② 四重殿庭

③ 月鑑房日記

④ 三師御伝十代

番号

番号

令和8年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教 学 専攻 仏教 学 コース C 社会人 (長期履修含む)

受験番号	氏名	科目	専門	評点
------	----	----	----	----

問1 次の①～⑧から 1つを選び、300字程度で解説しなさい。

- ① 法華三部經 ② 戒律 ③ インド大乘仏教の展開 ④ 南伝仏教
⑤ 中国南北朝期の仏教 ⑥ 台密と東密 ⑦ 敦煌と雲崗の石窟 ⑧ 仏像の様式変化

問2 あなたの研究について、

- ① これまで（修士論文等）の研究テーマとその概要
 - ② これから（博士後期課程）の研究テーマと選定の理由
 - ③ ②の年次計画、予想される成果、独自性
- について、全体を300～400字程度で記述しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問いと○の番号を明記の上で解答すること。】

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.